

令和4年2月21日

秋田ヘアビューティカレッジ
校長 金子正樹 様

学校関係者評価委員会
委員長 藤谷大和

学校関係者評価委員会報告

令和3（2021）年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員

- 藤谷大和（有限会社ディーキューブ 取締役）
- 佐藤敏雄（潟上市議会議員・卒業生）
- 沼田直子（株式会社GENIE ニコドロップ店長）
- 加藤直樹（株式会社ビー・エイチ 代表取締役）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- ① 令和3年6月2日 水曜日
（会場 秋田ヘアビューティカレッジ 2階メイク・ネイル室）
- ② 令和4年2月17日 木曜日
（会場 秋田ヘアビューティカレッジ 2階メイク・ネイル室）

3 学校関係者評価委員報告

別紙の通り

以上

各評価項目について

1 教育理念、目的、育成人材像

- ・多角的な視点からのニーズを見出すために交流を行う業種を具体化する必要あり。
- ・SNS（インスタグラム）の更新がマメに行われており楽しく感じる。有効な周知方法のひとつになっていると思われる。

2 学校運営

- ・給与規程が整備されているが改定がなされていない。見直しも必要ではないか。少なくとも3年毎に改定があってもよい。

3 教育活動

- ・実務実習内容をあらかじめ実習先と話し合う上で具体的なメニューをサロンから明示してもらい、学生の希望とあった内容としてはどうか（将来の仕事とのマッチング）
- ・サロン現場としては、言われてやる（決める）よりも、自分自身の意見・考えを持つような人材育成をお願いしたい。

4 学修成果

- ・就職率、合格率で100%を達成しており、非常に評価できる。もっとPRしていくべきである。
- ・就職先（店長等）に対し、卒後の様子を電話一本でも良いので確認するべきである。2年目、3年目と確認を継続し、キャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善につなげることができる。

5 学生支援

※特に意見等なし

6 教育環境

- ・教育環境の整備は進んでいることから、もっと評価が高くあっても良いと思う。

7 学生の募集と受け入れ

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、情報提供の機会が損なわれたことは理解できる。
- ・学納金の妥当性については本校の教育内容や成果を鑑みて検討を行うことも必要ではないか。

8 財務

- ・引き続き入学希望者を増やせるように魅力的な教育環境整備を推進することが重要。

9 法令等の遵守

- ・特に問題はなし。

10 社会貢献

- ・新型コロナウイルス感染症の状況は確かにあるが、学校周辺のゴミ拾いでも十分なボランティア活動の一環である。

以上